AU 343 48706 0129584 JUN 1987

(54) CLOSED TYPE ELECTRIC COMPRESSOR

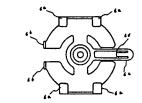
(11) 62-129584 (A) (43) 11.6.1987 (19) JP

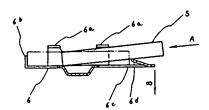
(21) Appl. No. 60-269298 (22) 2.12.1985 (71) HITACHI LTD (72) KENJI OGINO(3)

(51) Int. Cl⁴. F04B39/02,F04C29/02-

PURPOSE: To enable the easy fitting of magnets to a magnet retaining device on the bottom of a closed container by providing a plurality of pawls for retaining the upper part of the magnets and an arm extending in a radial direction of the magnets on side device, and further fitting a pawl to the arm for retaining the magnets in a radial direction.

CONSTITUTION: At upper both sides of a magnet retaining device 6, there is a pawl 6a extended internally and another pawl 6b is fitted upright at one end of the device 6 in a direction at right angles with the pawl 6a. Furthermore, an arm 6c with another upward pawl 6d is provided, extending from the opposite side of the pawl 6b. When a magnet 5 has been inserted in the magnet retaining device 6 from an "A" direction, the pawl 6d is bent in a "B" direction. When a magnet 3 has been additionally inserted, the pawl 6d returns upward on the elasticity thereof and the magnet 5 is rigidly retained between the pawls 6b and 6d.





⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62 - 129584

௵Int Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和62年(1987)6月11日

F 04 B 39/02 F 04 C 29/02 A-7018-3H L-8210-3H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

②特 願 昭60-269298

②出 願 昭60(1985)12月2日

砂発 明 者 荻 野 賢 二 栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所 栃木工場内

⑫発 明 者 石 川 津 雄 栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所

栃木工場内 : ※ 歩 歩士県下都賀郡士巫町士字宮田800 株式会社日

⑫発 明 者 成 好 巧 次 栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所 版本工程内

砂発 明 者 中 田 裕 吉 栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所 栃木工場内

①出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

迎代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

明 網 7

発明の名称 密閉形電動圧縮機

特許請求の範囲

密閉ケース内に磁石を保持する磁石保持装置を 備えた密閉形電動圧縮機において、上記保持装置 に磁石の上部を押さえる複数個の爪と、上記磁石 の径方向に伸びる腕を設けるとともに、上記腕に 磁石の作方向を保持する爪を設けたことを特徴と する割別形電動圧縮機。

発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本意明は、審閉形電動圧縮機に係り、特に鉄粉を吸着するため用いられる磁石の保持に好適な密 閉形電動圧縮機に関する。

〔従来の技術〕

従来のこの額審閉形世動圧組機は実公昭54 − 33123 号公報に示されているように、圧縮機の下 端面あるいは密閉ケース内底部の少なくとも一方 に突設したピンに破石を嵌合装着し、上記ピンの 先端部と密閉ケース内底面あるいは圧縮機体の下 蟷齨との間に上記銭石の以みより小なる間僚を形成したものである。

(発明が解決しよとする問題点)

しかしながら、上記圧組機は輸送中の衝撃によって磁行が圧縮機本体に吸着する可能性がある。 そのため、提動部が磁化され、ここに鉄筋が吸着 しやすいという点については配慮されていなかつ た。

(問題点を解決するための手段)

本発明は、密閉ケース内に磁石を保持する磁石 保持装置を備えた密閉形電動圧縮機において、上 記保持装置に磁石の上部を押さえる複数側の爪と、 上記磁石の経方向に伸びる腕を設けるとともに、 上記腕に磁石の経方向を保持する爪を設けたもの である。

(作用)

特開昭62-129584(2)

磁石を磁石保持装置に挿入する。その後、更に 挿入すると、磁石保持装置の腕は、下方向に弾性 変形し、爪を乗り越える。磁石は、腕と反対側の 爪まで挿入されて磁石保持装置に収まる。

挿入後は、腕は、その外性によつて、元に復帰 し、復帰した腕の爪によつて、磁石 5 は保持され る。 〔火龍例〕

(実施所) 以下、本発明の一実施例を、第1回から第4回 により説明する。

第1 図は、本発明の磁石保持装置が取付けられたロータリー式溶閉形電効圧縮機の凝断面図である。

第1 図において、1 は、圧射機本体、2 は、底チャンパ、3 は、弦チャンパであり、圧射機本体1 は、底チャンパに、営気溶接により取付けられている。底チャンパ2の下部には、冷砂機油7が有り、冷砂機油7にひたるように、底チャンパ2には、本発明の磁石保持装置6が取付けられている。そして、この磁石保持装置6には、磁石5が装着されている。磁石5の近傍の圧射機本体の下

部には、給油炭配りを鍛えており、ここより冷凍 機油を吸入する際、煮、底チヤンバ3、2および、 圧が機本体」と底チヤンバ2との電気溶接の際に 発生するスパッタを、この磁行5に吸着させ、圧 解機の摺動部にスパッタが侵入しないようにして いる。

本務明は、この磁石5を保持する磁石保持装置 6に関するもので、以下第2回、第3回、第4回 により説明する。

第2回は、本発明の磁石保持装置6の平衡図を ボす・第2回に示すように、上側両側には、内側 に伸びた爪6aが設けて有り、これと直角方向の 一端には、垂直に立上げた爪6bが、そして、こ れと反対方向に伸びた腕6cの先端部内側には、 上方に立上げた爪6dが設けてある。

また、第3例は、第2回の凝析面例で、中央部に四部6eを有していることを示す。

一方、この凹部6 e は、この部分が、成チャンパ2 との、取付部になるので、第 1 図に示す如く、この凹部6 e の近傍には、ポケット部6 f が出来

ð.

したがつて、冷凍機補7は、矢印の如く流れて 給油装置4に吸い込まれるので、底チャンバ2の 底面にあるスパツタ、その他の成块は、このポケ ツト部6fに貯り、ごみ分離効果を発揮すること が出来る。

次に、本発明の主目的である磁石の取付方法に ついて、第4回により説明する。

第4回は、本発明の鐵石保持装置6に銀石5を 挿入する際の緩筋面図を示す。

まず磁行5を第4同に示すように挿入する。その後、矢印Aの如く、磁石5を更に挿入すると、 随6cは、矢印Bの方向に弾性変形し、爪6dを 乗り越え、磁石5は、腕6cと反対側の爪6bま で挿入され、一点鎖線で示す如く収まる。

挿入後は、腕6cは、その外性によつて、元に 役場するので、爪6dによつて、絨石5の抜け防 止がされる。

以上の如く、磁石5を単に挿入するだけで、装 着が完了するので、作業能率の向上を図ることが 出来る。

(発明の効果)

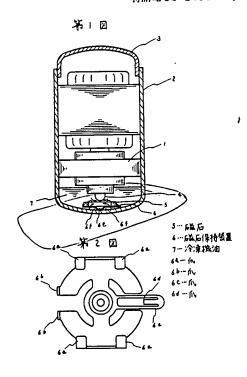
したがつて、本発明は、磁石の取付け作業工数の大中な低減が図れるとともに、冷凍機油中に混じるごみの分離ができるので、財効部へのごみ侵人による竣りを防止することが出来る。

図面の簡単な説明

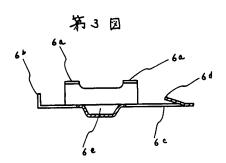
第1回は、本発明の磁石保持製度を取付けた納 閉形電動圧紡機の緩筋面回、第2回は、本発明の磁石保持製度の平面回、第3回は、本発明の磁石保 保持製度の緩筋而回、第4回は、本発明の磁石保 持製度に磁石を挿入するところを示す緩筋面回で ある。

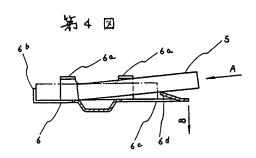
特開昭62-129584 (3)

1 … 圧縮機本体、2 … 眩チヤンパ、3 … 置チヤンパ、4 … 給油装置、5 … 離石、6 … 銀石保持装置、6 f … ポケツト部、7 … 冷凍機油、6 a … 爪、6 b … 爪、6 c … 側 部。



代理人 弁理士 小川勝男





-483-